

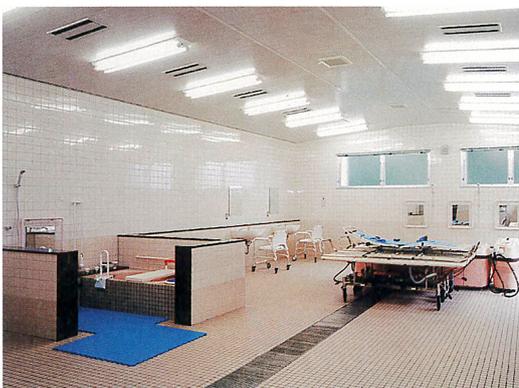
孤掌は鳴らず

北陸学院 学院長
井上良彦

「リトル・ターン（鳥のアジサシ）」という水彩画のふんだんに入った寓話を、五木寛之さんが日本語にして出版した。この鳥はある日急に飛べなくなったのだ。挫折・ひきこもり・登校（出勤）不能といった心傷ついたこの時代の精神状況をよく現わしているのだろう。この小アジサシは

回復してまた飛べるようになる。どうして飛べるようになったか。本は何十部も売れたそうだ。

30年前、やはり五木さんが出して人気を博した本に「カモメのジョナサン」があった。カモメの写真がふんだんに載っている本である。ジョナサンカモメは「高く、速く、強く」ひたすら飛ぶ。20世紀の人類は諸国民はそんな風であったのかも知れない。そして行きづまりと挫折が来た。日本は飛べなくなった最初の先進国の一つである。



上：入浴実習室 右：人間福祉学科棟外観

30年前、やはり五木さんが出して人気を博した本に「カモメのジョナサン」があった。カモメの写真がふんだんに載っている本である。ジョナサンカモメは「高く、速く、強く」ひたすら飛ぶ。20世紀の人類は諸国民はそんな風であったのかも知れない。そして行きづまりと挫折が来た。日本は飛べなくなった最初の先進国の一つである。

この話を礼拝で紹介したら、短大のある先生が同じような寓話の本を私に貸してくれた。「ライオンは眠れない」という。行きづまった日本の政財界を描いている。そのメッセージはこうだ。元寇の蒙古襲来・幕末の黒船来航・太平洋戦争の敗北とならんで、いまの日本は生死浮沈を賭けた岐路にある。あの危機を日本人は結束して乗り越えた。今のピンチは再生のチャンスでもあるのではないか。おおむね同感である。

この同窓会誌「栄光台の薫風」に拙文を求められた。昨年の第1号には「つよい一本の矢となって」と題してご挨拶させていただいた。今年も同じ思いである。

各科に分かれていた短大同窓会が、一本化して新たな活動を開始された。学校にとって同窓会ほど心づよい存在はない。母校愛に燃えた同窓会が学校をして時代の空に飛翔させてくれる。「孤掌鳴りがたし」という。片方の手では音は

出ない。高らかな合掌の熱と和が母校を大空へと、逆風をものともせず押し出してくれると信じる。



—『北陸学院短期大学50年の歩み』—

母校創立50周年記念事業として2002年1月発行されました。
懐かしい写真も多数掲載され母校の歩みを身近に感じることが出来る記念誌です。

申し込み先：
北陸学院短期大学同窓会
〒920-1396 金沢市三小牛町イ11
北陸学院短期大学（ライザー記念館内）

申し込み方法：
送料310円分の切手を同封の上、封書にて
住所、氏名、電話番号、卒業学科、卒業年度（又は回生）を
明記してお申し込み下さい。

ご希望の方はお申し込み下さい



限定：100冊（お申し込み順に発送いたします。）

mission, passion, action

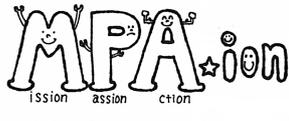
北陸学院短期大学 学長

大隅 恵子

「あなたらしく輝く女性に」これが2003年度版本文学の受験生向けグラビアのテーマです。一人一人の存在が輝きまわりの人々に希望と勇気を与える事ができる人になって欲しいと願ってのテーマなのでしょう。

「何ができるか」という利用価値を絶対視する社会の中で、忘れられているもの、その人が「ある」ことの尊さ、存在価値を伝えていく事が、北陸学院の1つの使命だと考えています。

ある雑誌に「mission, passion, action」が今後の教育機関の鍵であると出ていました。建学の精神にしっかり根をはり、その根に基づいて学生を育てる教師の熱意と気迫、そしてそれを実行する力がある学校が成長していくであろう。というのがその言葉の意味です。そのうちの1つが欠



けても十分な力を発揮しての学校運営は困難でしょう。

幸い本学には明確な教育理念があります。「主を畏れることは知恵のはじめ」神の存在認識がすべてのはじめであり、「生かされている」存在としての自己認識を若者に伝えていくこと、それが私たちの使命です。そのために熱意と気迫をもって教育現場で奮闘する教職員と共に、2002年度も新入学生を迎え力強い歩みをはじめていきます。学生一人一人が美しく輝くような女性に育って欲しいと祈り願いながらの日々を過ごしています。大学全入時代になり、かつてない問題に直面し当惑する事もしばしばですが、多くの学生に選ばれた短大である事に誇りと勇気をもってmissionを果たして生きたいと願っています。皆様の誇りになるような母校として着実な歩み続けるよう努力してまいります。

同窓会諸姉の祈りに母校を覚えてくださいますようにまた皆様のお働きの上に豊かな祝福を祈っております。

同窓会の和・話・輪

北陸学院短期大学 同窓会会長

森 正 栄

教育制度の改革案が正式に導入され、その是非を問う世論が交される中で、2002年度は始まりました。教育の改革ある時、社会もまた不安と変革とで揺れ動く、両面あいまった時代を我が国は、幾度となく繰り返してきましたが、歴史を重ねた叡智で、今の困難を克服していくと信じたいと思います。

同窓生の皆様におかれましては、つつがなくお過ごしのことと、お慶び申し上げます。

同窓会会報を昨年創刊いたしました、引き続き第2号の発行となりました。会報は同窓会主催の活動のお知らせや、各学科同窓生の動向をご紹介します、更に母校の現状や情報をお伝えすることにより、この大きな絆の大事な柱にしたいと思っております。

会報第1号の「同窓会活動内容」欄の記事の内、2つについてご報告いたします。

一つは同窓会賞の授与であります。11月1日短大祭初日、5学科学生全員集会の中で行われる学長賞授与に続き同窓会賞の授与を行いました。



学長賞は1年生に、同窓会賞は2年生の各学科から1名としてしています。緊張の面持ちで賞を受ける学生さんに、個の特性を十分に育て、よき社会人として大きくはばたいてほしいとの思いを込め贈りました。



次に、クリスマス礼拝は毎年12月第1土曜日の午後と決め、番匠鐵雄記念礼拝堂で牧師先生をお招きして行います。そして礼拝の中での献金は、同窓会が保有する奨学援助資金基金へ献げます。在学中に経済的理由から、あと少しの学業を断念せざるを得ない方のあることを憶え、祈りのうちに積み立てることとしました。礼拝後は、熱いお茶と一つの輪での楽しいおしゃべりで身体を温めて帰路につきました。遠方の方もこの時は、共にお祈り下さい。

最後に会報第2号発行にあたり、院長先生をはじめ学長先生、各学科長先生、同窓生の方々、お忙しい中からご協力頂きましたことを、心より感謝申し上げます。

ティングなども担当するようになりました。

また現代社会に必須の情報処理能力育成のためワード、エクセル、パワーポイントはもちろん、「ITイングリッシュ」という新科目では、英語で自分のホームページの作成に取り組みます。

資格に関しても、中学校教諭2種免許、ビジネス実務士に加え、情報処理士や本学独自の児童英語教師認定証が取れるようになり、また英検だけでなく、最近多くの企業で取り入れられているTOEICや留学のためのTOEFLなどの各種検定が学内で受験できるようになりました。また在学中の半年留学や卒業後の海外編入学、国内の4年制大学編入学に力を入れ、海外ではアメリカ2大学、カナダ1大学、国内では同志社女子やフェリス女学院、玉川大学など指定校推薦枠も広がっています。

最近小学校や幼稚園などでの英語活動が盛んです。また国際語としての英語の必要性がますます高まっています。卒業生の皆様



もTOEICやTOEFLを受験したり、科目等履修生として単位を取ることができますので、興味のある方はぜひ本学にお問い合わせください。

■ 教養学科

目に見える「教養」

学科長
高島 涼子

教養学科では今年60名の新生を迎えることができました。これは、2000年度からカリキュラムの改訂に着手し、高校生の求めているものと北陸学院短期大学教養学科が学生に求めるものを合体させた、目に見える「教養」を目標に作業してきた努力の賜物といえるかもしれません。従来の教養学科の特徴であった多方面にわたる学習が可能という点だけではもはや高校生を引き



付けることはできないと考え、何とか教員も設備も現状のままで新しい教養学科を作り上げたいと努力した成果だと言いきるには後数年の実績が必要ですが。今はとりあえず与えられた状況に感謝して、さらに学生数が増えるように日々努めています。

2002年度から始まりました5学科共通基礎科目に「教養演習」というのがあります。これは各学科で内容を決めるのですが、教養学科では教員全員がそれぞれの分野を担当して、一人ひとりの学生が社会に巣立っていく準備をする科目と捉えています。また、「自己の発見」という科目では、個人面談を重視して学生とのコミュニケーションを図っています。

今年から始まったカリキュラムを通して一人ひとりの学生が持っている個性と能力を大切にしていって、まさに「教育」が新たに始まりました。この年を再出発の年と位置づけて、教養学科のさらなる発展を目指して教職員一同助け合いながら歩んでいきます。同窓会の皆様にもぜひご協力をお願いします。

■ 人間福祉学科

次なるステップへ

学科長代理
富岡 和久

大きく変化する福祉制度の中、介護福祉士の養成という社会の要望に応え設置された人間福祉学科も、すでに4回目の入学生を迎えました。第1回目の卒業生も仕事に就いて2年が過ぎ、同窓の後輩たちと一緒に現場で働くことにより、その働きが安定してきたことと思います。学科運営を軌道に乗せるべく、新しい教員と新しい学生でスタートした本学科もようやく「北陸学院らしさ」を身につけ、教員・学生双方が自身を持つともにおちついてきました。一方、厚生労働省が介護福祉士の「量より質」を重視する方向性を明確にしてきた今、この安定に甘んじることなく、他者への配慮を重んじるキリスト教精神に基づく本学の教育理念をさらに生かす教育が必要になってきました。単なる技術の習得だけでなく、確かな技術と人を思いやる心、そしてそれを支える知識を

バランスよく身につけた人材の育成、その大きな目標を達成するため、私たちは現在もカリキュラムの見直しをすすめています。今までの教授陣の豊富な知識ばかりでなく、現場で働く卒業生の意見も取り入れることにより、様々な視点から介護福祉士に必要なとされる内容を模索しています。また、今年も7月30日にホームカミングデイを開催します。この行事に一人でも多くの同窓生に参加していただくことにより最新の福祉情報を身につけると共に、現場で培った卒業生の知識を共有化し、皆さんの力に磨きをかけていただきたいと思えます。



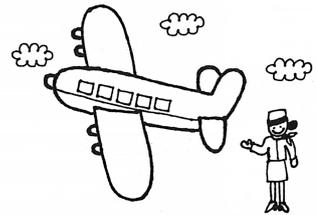
村井久仁子さん

2000年度卒業
人間福祉学科1回生

人間福祉学科を卒業してはや1年となります。私の場合社会人として再入学という（保育科の38回生です）ケースで、育児と勉学の両立に励んでいました。あの頃は先生方に暖かく見守られぬくぬくと学生生活を送っていました。只今私は、栄光台からよく見える、同じくらいの山の上に建つ新設の特養で働いています。働いているといっても何故かしら洗濯ばかりの日々で、お年寄りからはよく実習生に間違えられている(!?)という状況で、あたふたと毎日が過ぎていっています。学生の頃のようにゆっくりと本の1冊でも読んでみたい、そんな心境です。



英語科時代に見えてきた方向性のお陰です。その意味ではすべての出会い、経験に意味があると感謝しています。そして今日も『びっくり』する為に出掛けます。
良き出会いを！



砺波 恵子さん

1967年度卒業
食物栄養学科4回生

埼玉県所沢市のコミュニティセンターで、「パンと料理のサークル」を開いて20年になります。現在、公民館も含め、3教室で30数名の方々に、各々月1回料理講習を行っています。所沢は東京のベットタウンといった土地柄、サークルメンバーの出身地は全国各地に及びますが、皆さん料理好きです。食は健康の要と考え、旬の素材を生かし、栄養バランスの良い家庭料理をとレシピ作成しています（北陸学院で学んだ事が基礎となっている）。一緒に調理して試食を楽しみ、様々な生活情報交換を通して、更に親睦を深めていきたいと思っています。

同窓生—ing

母校で学んだことを活かして、
様々な場面で活躍されている
5人のさわやかさんをご紹介します。

横長 衣子さん

1976年度卒業
教養学科8回生

25年も前…

講義されていた梶井先生が「図書館学を履修すればどんな図書館でも働く資格が与えられる。しかしながら、その受け皿は極めて少なく、50人中2人くらいだろうか。」とおっしゃいました。その数少ないチャンスを活かすことができ、県立高校の学校司書として10年勤めています。職場では、図書課の先生方と図書館管理・委員会活動・読書指導などの図書館運営に関わり、研修会や研究大会にも参加して研鑽と刺激を受ける日々です。



なんととっても、先生方や生徒たちと「本」を通して語り合える時に司書としての喜びを感じます。

橋本 晴美さん

1973年度卒業
英語コミュニケーション学科9回生

30年前短大に入学させていただいた時ですら将来何になりたいのか手探りの状態でした。一つだけ確かだったことは自分の足で立ち続けられる仕事をという気負いでした。英語科で学ぶうちにこれを足がかりにかつ私の尽きない好奇心を満たしてくれる航空機の乗務員という仕事に思い至りました。幸い仕事に就いた後も異文化への興味は私の世界を大きく広げてくれました。すべては



瀬戸 美江さん

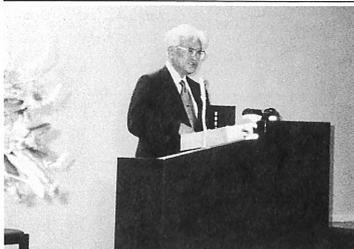
1976年度卒業
保育学科26回生

『いしかわ子育て支援財団』という名を耳にされた事がある方も多いのではないでしょうか。私は今、そのサポーターとして、多くの同窓生の方と御一緒に活動をしています。育児サークル、育児教室の支援、イベントにおける託児室の開設など、今までほんとに多くの子供たちと出逢ってきました。幼い子供というのは、何て柔らかくて、真っ直ぐで、そして繊細な心を持っているのだらうといつも思います。こうして活動出来るのも短大を卒業して資格を与えて頂いたからです。すっかり埋ったスケジュール帳を眺めつつ、明日も頑張ってきてます！



◇ 2001年度総会報告 ◇

2001年6月16日(土)開催



5学科が合同しての記念すべき「北陸学院短期大学同窓会」第1回総会が開催され、同窓会組織・活動の基本となる以下の案件について熱心な審議が行われました。

- ① 会則審議
- ② 2000年度活動報告
- ③ 2000年度決算報告ならびに監査報告
- ④ 2001年度活動予定案審議
- ⑤ 2001年度予算案審議
- ⑥ 役員選出

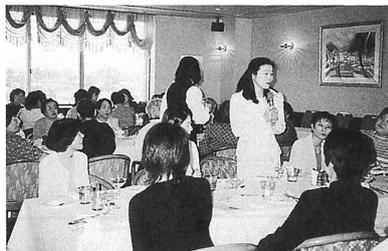
以上承認

役員として、森 正栄会長・各学科より1名の副会長・以下各担当の役員・常任幹事・幹事・会計監事が選出されました。

◇ 2002年度総会報告 ◇

2002年5月25日(土)開催

第2回総会は、回生委員・役員・常任幹事・幹事による審議とし、会場は三小牛キャンパスを離れてホテルで開催しました。



- ① 2001年度活動報告
- ② 2001年度決算報告ならびに監査報告

- ③ 2002年度活動予定案審議
- ④ 2002年度予算案審議
- ⑤ 報告 同窓会会員現況 (下記表参照)

	会員在籍数	不明者数	死亡者数
保 育 科	4,094	221	66
食 物 栄 養 科	3,835	368	11
英 語 科	2,777	231	4
教 養 科	2,480	80	3
人 間 福 祉 科	140	0	0
合 計	13,326	900	84

活発な討議の後は、美味しいご馳走に会話も弾みました。その中で指名されて立った今年3月卒業の新会員の方々から「私は北陸学院が大好きなので今日は来ました。」とのスピーチがあり、先輩方の大きな拍手が送られました。「クラス会をしなくちゃネ!」の言葉も聞かれ、和やかな中に会は閉じられました。

2002年度 北陸学院短期大学同窓会役員名簿

	氏 名	卒業学科
名 誉 会 長	大 隅 恵 子	保 育 科
会 長	森 川 正 栄	人 間 福 祉 科
副 会 長	中 野 裕 子	食 物 栄 養 科
	高 木 一 子	英 語 科
	野 坂 裕 美	教 養 科
書 記	馬 場 知 子	英 語 科
	小 川 和 子	食 物 栄 養 科
会 計	上 野 久 美	保 育 科
	村 上 悦 子	保 育 科
席 常 任 幹 事	福 本 伸 子	保 育 科
	石 川 早 苗	英 語 科
	高 波 彩 香	人 間 福 祉 科
	近 岡 啓 子	教 養 科
幹 事	野 崎 せ つ	英 語 科
	石 島 裕 美	食 物 栄 養 科
	大 新 加 二	教 養 科
	須 加 二	保 育 科
	鏑 正 美	教 養 科
	西 田 修 子	英 語 科
	前 田 敦 子	食 物 栄 養 科
	宮 丸 康 子	保 育 科
	森 田 君 子	英 語 科
	吉 田 涼 子	保 育 科
会 計 監 事	高 島 一 江	食 物 栄 養 科
	野 坂 一 江	食 物 栄 養 科

卒業学科(現名称)

ア ン ケ ー ト

北陸学院短期大学同窓会 役員会

今後の同窓会活動において、皆様のご意見を参考にさせていただきたいと思っております。下記のアンケートにお答えください。(該当するものに○を、記載事項のあるものにご意見をお書きください)

1. 総会等集会の会場には、どこが良いと思われますか？
(ただし、蚤の市、クリスマス礼拝は三小牛キャンパス内で行います)
a. 三小牛キャンパス内
b. 市街地の施設を利用
() ホテル () 貸会議室 () その他(具体的に)
2. 同窓会の活動として、どのようなものがあればよいと思われますか？
(具体的にテーマや講師のご希望があればお書きください)

a. 講演会	()	講 師	()
b. 講習会	()		()
c. ボランティア	()		()
d. 聖書研究会	()		()
e. その他	()		()
3. 集会時の託児についておたずねします。
a. 託児はあった方がよい
b. 必要ない
4. その他ご意見・ご要望

ありがとうございました

アンケート集計

(50人中41人の回答)

1. a. 6
b. ホテル 32
貸会議室 0
その他 3 — {
○交通の便の良い所
○総会後話し合える場所がある所
○役員におまかせ
2.

活 動	テ ー マ	講 師
a 講演会 (12)	○言語心理学 ○心のおしゃれ ○人と自然のふれあい ○これからの女性としての生き方 ○絵本について	NHKアナウンサー 中川李枝子 和歌山県各学科の先生
b 講習会 (6)	○一口英語講座(短期・シリーズで) ○介護に関して・福祉について(ケア) ○生涯教育となるもの ○手作り(クリスマスツリー等) ○手あそび、体操 ハンドベル・トーンチャイム ○栄養と現代	
c ボランティア (8)	○登録制の実現に向けて ○高齢化に備えて ○自分を生かせる道 ○人と家族	千葉茂明先生 井上良彦先生
d 聖書研究会 (5)	○生きるということ	
e その他 (1)	○話し方・手紙の書き方	

※ () は回答者数
3. a. 26
b. 10
回答なし 4
4. ○学校の様子などが分かりよかった
○何かとつながりを見つけて多くの卒業生が参加出来るとうよい
○ビデオの上映など
○洋食より和食がよい
○よく分からないことの飛び合いにしか聞こえなかった

同窓会活動内容

★活動目的★

母校の教育活動の発展に寄与する。
 会員相互の理解と親睦を図る。
 短期大学で学んだ高い理想と教養を保ち、広く社会に貢献する。

～2001年度活動報告～

会報発送作業

2001年6月16日(土)午前10時より、同窓会会報“栄光台の薫風”創刊号の発送作業を行いました。膨大な発送量を前にして、気が遠くなる思いでしたが、回生委員の皆様の懸命なご協力のおかげで、午後4時頃、ようやく11000通余りの封筒全てに封がされ、郵便局に渡すことができました。今回は他に、第1回同窓会総会のご案内、住所不明者リストなどを同封いたしました。

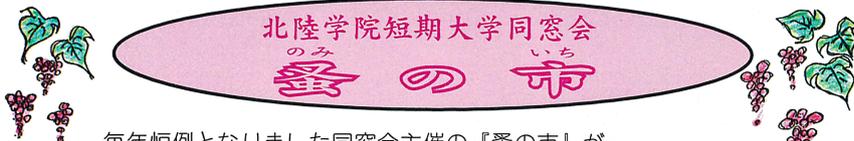
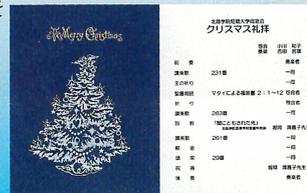
お忙しい中、お手伝いいただきました回生委員の皆様にご心より感謝申し上げます。



クリスマス礼拝

平成13年12月1日(土)5学科合同の同窓会となって初めてのクリスマス礼拝が行われました。三小牛のチャペルには、モミの木のリースが飾られ、パイプオルガンの荘厳な調べが響く中、北陸学院高等学校聖書科教諭 堀岡満喜子先生が、「闇にともされた光」と題して、素晴らしいお説教をして下さいました。クリスマスの讃美歌も懐しく、又礼拝後のお茶会では、楽しいおしゃべりに花が咲き、北陸学院で学べた幸せを感じる事ができたひと時でした。

今年も、12月第1土曜日(7日)午後1時半より、第2回同窓会クリスマス礼拝を行います。三小牛のチャペルが、同窓生で溢れます様、多勢の方の御参加をお待ちしています。



毎年恒例となりました同窓会主催の『蚕の市』が、北祭祭の一般公開に併せて今年も秋に開催されます。

- 日時 2002年11月2日(土) 午前9:30～ 売り切れ次第終了
- 場所 北陸学院短期大学構内ライザー記念館

～ご家族、ご友人お誘い合わせお越しください～
 (coffee、紅茶、抹茶のコーナーもあります。)

是非 献品にご協力ください!

～2002年10月末日までに～

- ★ 献品の品 ★ ・新品同様な品 ・着用可能な衣類
- ★ 献品の方法 ★ ・同窓会事務局へ持参・郵送も可 (短大同窓会宛)



クリスマス礼拝

日時

2002年12月7日(土)
 午後1:30～

場所

三小牛キャンパス内
 番匠鐵雄記念礼拝堂



会員の皆様の今後の活動に対するご質問・ご要望・ご提案などがございましたら、同窓会事務局までお寄せください。
 なお、事務局には月・水・金曜日の午前10時～12時の間、事務局員が在室しております。

皆様のお声をお待ちいたしております。

＝同窓会事務担当1名募集します。＝

月・水・金曜日の午前10時～12時の間、ライザー記念館内同窓会室(三小牛キャンパス内)で同窓会の事務をしていただきます。

詳細は、下記、同窓会事務局までお問い合わせ下さい。

北陸学院短期大学同窓会事務局

〒920-1396 金沢市三小牛町イ11番地 ライザー記念館内

TEL/FAX 076-280-3830 E-mail/jcog@hokurikugakuin.ac.jp

■編集後記 北陸学院短期大学同窓会会報第2号を発行しました。第2号を発行できたことをとても嬉しく思っています。この同窓会会報を通して、同窓会の繋がりがより一層深まれば幸いです。尚、この会報を発行するにあたって原稿をお寄せ頂いた方をはじめ、発行に携わって頂いた方々に心から感謝致します。これからもこの同窓会会報の内容が充実したものとなりますように私達も努力致しますので、皆さんの御協力をよろしくお願い致します。
 (編集委員：中川理恵・高波彩香 2000年度卒業 人間福祉学科1回生)

2002年7月1日発行
 発行：北陸学院短期大学同窓会
 〒920-1396 金沢市三小牛町イ11番地
 TEL/FAX 076-280-3830
 E-mail/jcog@hokurikugakuin.ac.jp
 印刷：活文堂印刷株式会社